

Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	項目評価	A	評点	3.95
コメント	<p>震災復興への支援については、計画を上回る企業訪問を重ね、復興の進捗状況や企業ニーズを的確に把握し、企業主体の支援を実施したことについて評価する。</p> <p>技術相談については、企業訪問数、技術相談件数について目標を大幅に達成したこと、及び迅速かつ丁寧な対応により、高い顧客満足度が得られたことについて評価する。AAに近いA評価である。</p> <p>依頼試験等については、実績値が目標値を大きく上回っており、また利用企業からは高い満足度が得られていることを高く評価する。今後も、不満足意見に対しては、丁寧に対応し、業務内容がより充実されることを期待する。</p> <p>設備機器貸出については、目標達成したことについて評価する。今後、研究スタッフ等の支援人材の育成にも努め、様々な利用要請に応えられるよう期待する。</p> <p>戦略的な研究開発については、研究テーマ数等、目標の一部は未達成であったものの、外部資金獲得額等、目標達成した事項について評価する。</p> <p>県政課題等解決のための重点研究については、県政課題等解決のための研究開発が着実に進められている。</p> <p>企業ニーズに対応した共同研究及び受託研究については、満足度の高い共同研究が推進されており評価する。今後、活用事例の情報提供等、新規の利用企業を開拓するための一層の努力を期待する。</p> <p>技術シーズ創生研究については、企業ニーズを見据えた多様な研究テーマとして展開されている。将来的に外部資金の獲得に繋がる研究テーマに発展することを期待する。</p> <p>研究成果の市場化促進については、事業化支援件数の目標を達成しており評価する。今後も、魅力ある技術シーズのPRIに努め、事業化につながる成果が創出されることを期待する。</p> <p>新産業創出及び新分野進出への支援については、取組プロジェクト数が、目標を大幅に上回っており評価する。</p> <p>ものづくり成長分野への進出支援については、岩手県が推進するものづくり産業振興施策に係る各種研究会、協議会に参画し、県内企業のニーズに対して積極的に技術支援を実施している。</p> <p>食産業及び伝統産業分野への支援については、食産業や伝統産業分野等、県内地場産業への技術支援は、公設試の重要な存在価値の一つであり、積極的な取組を行っていることについて評価する。</p> <p>ものづくり革新への対応については、次世代ものづくりラボの開所等により、次世代技術の研究開発がより強力に推進されることとなったことは、評価される。当該分野は、革新・競争が激しいため、広範な情報収集と機敏な対応が求められることに留意されたい。</p> <p>海外へのビジネス展開支援については、県内の工芸品及び地場製品の海外展開に向けて、セミナーや市場調査にとどまらず、海外デザイナーと県内事業者との連携から新商品開発に進展していることについて評価する。</p> <p>連携の推進については、連携推進室が設置されたことにより、外部機関との連携が進み、コーディネーター機能が着実に強化されていることについて評価する。</p> <p>企業人材の技術高度化支援については、講習会等参加者の満足度及び人材育成利用企業の満足度についての目標が未達成であった。講習会の企画に当たっては、主旨、対象を明確にした上で、講習後の技術向上が着実に達成できる中長期的・継続的な支援が望まれる。</p> <p>次代を担う産業人材の育成については、インターンシップの受け入れについて、全ての要望に応えたことは評価するが、次代を担う産業人材の育成という点から、各種学校との連携を図る等、より積極的な取組が望まれる。</p> <p>技術移転については、全研究部で技術移転がなされ、数値目標を達したことは評価される。</p> <p>知的財産の取得・保護については、知財創出件数の数値目標を達成し、職員に対する知財研修を戦略的かつ継続的に実施していることは評価される。</p> <p>情報の発信については、積極的に広報活動に取り組んでいる点について評価するが、見やすいホームページの作成や若年層が興味を持つことの出来るような公開行事の開催等一層の取組を期待する。</p>			

小項目	評価	評点	コメント
震災復興への支援	A	4.33	計画を上回る企業訪問を重ね、復興の進捗状況や企業ニーズを的確に把握し、企業主体の支援を実施したことについて評価する。
技術相談	A	4.50	企業訪問数、技術相談件数について目標を大幅に達成したこと、及び迅速かつ丁寧な対応により、高い顧客満足度が得られたことについて評価する。AAに近いA評価である。
依頼試験等	AA	4.67	実績値が目標値を大きく上回っており、また利用企業からは高い満足度が得られていることを高く評価する。今後も、不満足意見に対しては、丁寧に対応し、業務内容がより充実されることを期待する。
設備機器貸出	A	4.00	目標達成したことについて評価する。今後、研究スタッフ等の支援人材の育成にも努め、様々な利用要請に応えられるよう期待する。
戦略的な研究開発	B	3.17	研究テーマ数等、目標の一部は未達成であったものの、外部資金獲得額等、目標達成した事項について評価する。
県政課題等解決のための重点研究	A	4.00	県政課題等解決のための研究開発が着実に進められている。
企業ニーズに対応した共同研究及び受託研究	A	4.00	満足度の高い共同研究が推進されており評価する。今後、活用事例の情報提供等、新規の利用企業を開拓するための一層の努力を期待する。
技術シーズ創生研究	A	4.00	企業ニーズを見据えた多様な研究テーマとして展開されている。将来的に外部資金の獲得に繋がる研究テーマに発展することを期待する。
研究成果の市場化促進	A	4.00	事業化支援件数の目標を達成しており評価する。今後も、魅力ある技術シーズのPRに努め、事業化につながる成果が創出されることを期待する。
新産業創出及び新分野進出への支援	A	4.33	取組プロジェクト数が、目標を大幅に上回っており評価する。
ものづくり成長分野への進出支援	A	4.17	岩手県が推進するものづくり産業振興施策に係る各種研究会、協議会に参画し、県内企業のニーズに対して積極的に技術支援を実施している。
食産業及び伝統産業分野への支援	A	4.17	食産業や伝統産業分野等、県内地場産業への技術支援は、公設試の重要な存在価値の一つであり、積極的な取組を行っていることについて評価する。
ものづくり革新への対応	A	4.00	次世代ものづくりラボの開所等により、次世代技術の研究開発がより強力に推進されることとなったことは、評価される。当該分野は、革新・競争が激しいため、広範な情報収集と機敏な対応が求められることに留意されたい。
海外へのビジネス展開支援	A	4.33	県内の工芸品及び地場産品の海外展開に向けて、セミナーや市場調査にとどまらず、海外デザイナーと県内事業者との連携から新商品開発に進展していることについて評価する。

連携の推進	A	4.00	連携推進室が設置されたことにより、外部機関との連携が進み、コーディネーター機能が着実に強化されていることについて評価する。
企業人材の技術高度化支援	B	3.00	講習会等参加者の満足度及び人材育成利用企業の満足度についての目標が未達成であった。講習会の企画に当たっては、主旨、対象を明確にした上で、講習後の技術向上が着実に達成できる中長期的・継続的な支援が望まれる。
次代を担う産業人材の育成	A	4.00	インターンシップの受け入れについて、全ての要望に応えたことは評価するが、次代を担う産業人材の育成という点から、各種学校との連携を図る等、より積極的な取組が望まれる。
技術移転	A	4.00	全研究部で技術移転がなされ、数値目標を達したことは評価される。
知的財産の取得・保護	A	4.00	知財創出件数の数値目標を達成し、職員に対する知財研修を戦略的かつ継続的に実施していることは評価される。
情報の発信	A	4.00	積極的に広報活動に取り組んでいる点について評価するが、見やすいホームページの作成や若年層が興味を持つことの出来るような公開行事の開催等一層の取組を期待する。

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	項目評価	A	評点	3.80
----------------------	------	---	----	------

コメント	<p>組織運営の改善については、柔軟に組織の検証改善を図っている点は評価できる。技術支援部門の再編が組織横断的な支援体制の強化に繋がることを期待する。</p> <p>事務等の効率化・合理化については、順調に超過勤務時間の縮小に努められている。引き続き、特定の人員に超過勤務が集中しないように、組織間バランスを図りながら、恒常的且つ随時の見直しを行っていく必要がある。</p> <p>職員の意欲向上と能力開発については、職場の自己啓発機運の醸成と職員のモチベーション向上に組織として積極的に取り組んでおり評価できる。</p> <p>環境・安全衛生マネジメント及び職場環境の充実については、環境監査の未実施や、エネルギー使用量の削減が必ずしも進んでいない点が認められるものの、継続して労働災害及び交通事故が発生していないことは評価できる。</p> <p>コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施については、コンプライアンス強化の一環として、情報セキュリティについては、より能動的な対応が求められる。</p> <p>社会貢献活動における小中高生を対象とした取組については、「次代を担う産業人材の育成」と関連することから、その関連性を明確にしつつ、積極的に実施していくことを期待する。</p>
------	--

小項目	評価	評点	コメント
組織運営の改善	A	4.00	柔軟に組織の検証改善を図っている点は評価できる。技術支援部門の再編が組織横断的な支援体制の強化に繋がることを期待する。
事務等の効率化・合理化	A	4.00	順調に超過勤務時間の縮小に努められている。引き続き、特定の人員に超過勤務が集中しないように、組織間バランスを図りながら、恒常的且つ随時の見直しを行っていく必要がある。
職員の意欲向上と能力開発	A	4.00	職場の自己啓発機運の醸成と職員のモチベーション向上に組織として積極的に取り組んでおり評価できる。
環境・安全衛生マネジメント及び職場環境の充実	B	3.00	環境監査の未実施や、エネルギー使用量の削減が必ずしも進んでいない点が認められるものの、継続して労働災害及び交通事故が発生していないことは評価できる。
コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施	A	4.00	コンプライアンス強化の一環として、情報セキュリティについては、より能動的な対応が求められる。 社会貢献活動における小中高生を対象とした取組については、「次代を担う産業人材の育成」と関連することから、その関連性を明確にしつつ、積極的に実施していくことを期待する。

IV 財務内容の改善に関する事項		項目評価	A	評点	4.00
コメント	<p>外部研究資金その他の自己収入の確保については、自己収入額について、目標を達成した点を評価する。 経費の抑制については、恒常的な取組により、全体として抑制が図られている。</p>				

小項目	評価	評点	コメント
外部研究資金 その他の自己 収入の確保	A	4.33	自己収入額について、目標を達成した点を評価する。
経費の抑制	A	4.00	恒常的な取組により、全体として抑制が図られている。

Ⅷ その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	項目評価	A	評点	4.00
----------------------------	------	---	----	------

コメント	<p>試験研究機器の整備・活用については、試験研究機器の更新、維持、管理が計画的に行われている。今後、一層の計画的整備を期待する。</p> <p>施設・設備の計画的な修繕・整備については、中長期の修繕・整備計画に基づき計画的な修繕・整備が行われている点を評価する。人材育成の一環として法定資格取得者の計画的育成に一層心がけられたい。</p> <p>人事に関する事項については、センター内での研修以外にも、積極的に外部研修に参加している点を評価する。</p>
------	--

小項目	評価	評点	コメント
試験研究機器の整備・活用	A	4.00	試験研究機器の更新、維持、管理が計画的に行われている。今後、一層の計画的整備を期待する。
施設・設備の計画的な修繕・整備	A	4.00	中長期の修繕・整備計画に基づき計画的な修繕・整備が行われている点を評価する。人材育成の一環として法定資格取得者の計画的育成に一層心がけられたい。
人事に関する計画	A	4.00	センター内での研修以外にも、積極的に外部研修に参加している点を評価する。

■総合評価

					加重 比率	
各項目の評価	Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	項目評価	A	評点	4.00	66%
	Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	項目評価	A	評点	4.00	17%
	Ⅳ 財務内容の改善に関する事項	項目評価	A	評点	4.00	7%
	Ⅷ その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	項目評価	A	評点	4.00	10%
		総合評価	A	評点	4.00	—

■総合評価コメント

コメントまとめ	<p>平成28年度においても、計画的に業務を遂行し、十分な業務実績を上げていると認められる。</p> <p>次代を担う産業人材の育成を進めるために、小中高生等の若年層に対して、工業技術への関心を喚起するような情報を積極的に発信していくことが期待されるが、全体としては、第3期中期目標、中期計画の達成に向けて、着実に業務を進めていると評価できる。</p>
---------	--